

# 【 第7回 女子ユース世界選手権 】

2018年8月7日～19日

開催国：ポーランド・都市：キエルツェ

## 試合結果報告 8月15日（水）

JAPAN	VS	KOR(韓国)
15	前半	20
15	後半	16
	第一延長	
	第二延長	
30	合計	36

### 個人得点

No.	名前	前半	後半	合計
1	千葉 夏希	—	—	0
2	橋口 和佳奈			0
4	辻野 桃香		1	1
5	阿部 美幸	3	4	7
6	伊藤 愛莉	2	3	5
7	服部 沙也加			0
9	安田 つぐみ			0
10	岡田 彩愛	2	3	5
12	榊 真菜			0
13	抜水 うらら	—	—	—
14	平野 宗香	1		1
15	谷藤 悠	5		5
16	柿添 まどか			0
17	紅林 詩乃	1	2	3
18	江本 ひかる			0
19	宇治村 唯			0
20	守屋 葵		1	1
21	上田 遥歌	1	1	2
	合計	15	15	30

### 戦評

決勝トーナメント初戦は韓国と対戦。日本は最初からタイムアップまで7人攻撃を展開する。開始早々動きの硬い日本に対し、韓国は巧みな組織プレーで日本を圧倒する。0-3となったところで日本はチームタイムアウトをとるが、動きの硬さはとれない。このまま離されてしまうのかという雰囲気は流れたが、7分1-6とされた所で、紅林のポストをきっかけに7人攻撃が決まりだす。上田のポスト、谷藤のサイド、伊藤のミドル、阿部のカットインとOFが機能してきたと同時に、DFでも上田、守屋、谷藤が韓国の攻撃に慣れて、ナイスDFで相手の攻撃を止め始める。20分過ぎから韓国は岡田にマンツーマンを仕掛けるが、日本は怯まなかった。後半28分からは平野、岡田の速攻などで4連取、前半を15-20で終える。後半、日本の勢いは止まらなかった。紅林のポストで相手を退場とし、阿部のミドルでの連取などもあり、9分22-24と追い上げる。相手も7人攻撃を展開するが、日本のGK榊のナイスセーブや、上田、守屋のDFで相手のOFを封じる。一進一退の攻防が続くが、大事な場面でシュートが枠を捉えられない。日本は辻野、服部、宇治村を交代で投入、GK柿添、榊のナイスセーブもあったが、30-36で敗れた。後半には競りあう場面が多かったが、大事なシュートを決めることができなかったことと、前半のスタートの入りの悪さが悔やまれる敗戦となった。この試合の日本のMVPは阿部美幸が獲得した。

報告記入者：

安藤 希沙